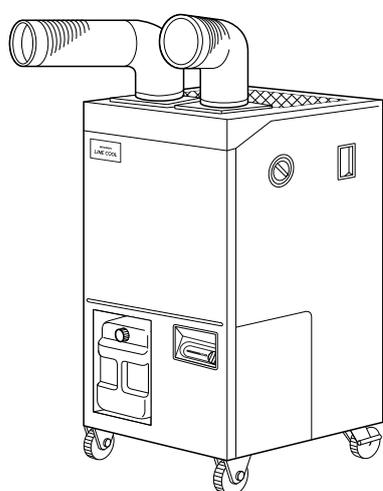
MITSUBISHI

取扱説明書

三菱電機スポットエアコン

LINE COOL

《1 体形》

掲載機種

MD-P40TFD1
MD-P60TFD
MD-P40TFD1L
MD-P60TFD-L

●このたびは三菱電機スポットエアコンをお買上げいただき、まことにありがとうございます。

●この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
お読みになった後、いつでもご覧になれるよう、お手元に保管してください。
お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。

●保証書はお買上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

安全について　必ず守ってください

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性または物的損害の可能性があるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		絶対に水にぬらさないでください。		必ずアース工事をしてください。
	絶対にぬれた手で触れないでください。		必ず指示どおりに行ってください。		必ず電源プラグを抜いてください。

⚠警告 使用上の注意事項

●**長時間冷風を体に直接当てない、冷やし過ぎない**
体調悪化・健康障害の原因になります。

禁止

●**吸込口や吹出口に指や棒などを入れない**
ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。

禁止

●**分解や修理をしない**
水もれや感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●**改造は絶対にしない**
事故の原因になります。
改造による故障は、保証期間内でも有料修理になります。

禁止

●**調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない**
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

●**調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属性のホコリのある場所では使用しない**
火災や故障の原因になります。

禁止

●**冷媒がもれたら火気厳禁**
エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。

禁止

●**可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない**
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

●**電源プラグの抜き差しでエアコンの運転や停止をしない**
火災や水もれの原因になります。
また、運転操作ツマミが「停止」になっていない場合、ファンが突然回り、けがの原因になります。

禁止

●**電源コードを破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままでの使用はしない**
重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりすると破損して感電・火災の原因になります。

禁止

●**電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・タコ足配線をしない**
感電や発熱・火災の原因になります。

禁止

●**ヒューズ付負荷開閉器を使用の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しない**
針金などを使用すると故障や火災の原因になります。

禁止

●**異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止し電源をしゃ断してから、電源プラグを抜く**
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。

●**電源プラグは、ホコリが付着していないか確認し、がたつきのないように確実に差し込む**
感電や火災の原因になります。

⚠警告 使用上の注意事項

●電気工事が必要な場合は、お買上げの販売店に依頼する

配線などに不備があると、漏電・火災の原因になります。

●洪水・台風など天災でエアコンが水没したときは、お買上げの販売店に相談する

運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。

●エアコン内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買上げの販売店に依頼する

誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水もれなどの原因になります。
また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかると故障や発煙・発火の原因になります。

⚠注意 使用上の注意事項

●特しゅ用途には使用しない

精密機器・食品・美術品などの保存、動植物の飼育や栽培など、特しゅ用途に使用すると、対象物の性能・品質・寿命に悪影響をおよぼすことがあります。

●エアコンの上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。

●エアコンの真下や近くにぬれて困るものは置かない

運転条件によっては、本体や冷媒配管への結露・エアフィルターの汚れ・ドレン出口のつまりで水が滴下し、家財などをぬらす原因になることがあります。

●吹出ダクトの方向変換は、たたいたり強く曲げたりしない

脱落し、けがの原因になることがあります。

●エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わない

燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

●エアコンの近くで暖房器具を使わない

暖房器具の熱により吸込グリルなどが変形することがあります。

●動植物に直接風を当てない

動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

●吹出口の近くにスプレー缶などを置かない

凝縮器からの温風によりスプレー缶などが爆発するおそれがあります。

●エアコンで遊ばせない

誤った操作による体調悪化や健康障害の原因になることがあります。

●エアコンの吸込口やアルミフィンにさわらない

けがの原因になることがあります。

●エアコンの吹出口を取り外さない

高速で回転するファンにより、けがの原因になることがあります。

●吸込口や吹出口をふさがない

能力低下や故障の原因になることがあります。

●傾斜部や凸凹部に設置しない

転倒によるけがや水もれの原因になることがあります。
必ず水平な場所に設置してください。

●移動時傾けない

転倒によるけがや水もれの原因になることがあります。

●運転中は移動しない

水もれや感電の原因になることがあります。

●エアコンの周辺に、物を置いたり、落ち葉をためない

落ち葉などから侵入した小動物が、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。

⚠注意 使用上の注意事項

●ぬれた手で操作しない
感電の原因になることがあります。

●エアコンを水洗いしない
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

●エアコンの上に花びんなど、水の入った容器を置かない
内部に水が浸入して感電や火災の原因になることがあります。

●お手入れのときは必ず運転を停止し電源をしゃ断してから、電源プラグを抜く
感電やけがの原因になることがあります。

●長期間使用しないときは、電源プラグを抜く
ホコリがたまって発熱・発火の原因になることがあります。

●ドレンタンクは必ず水を捨て、製品に取り付けて使用する
（ドレンホース接続時はドレンタンクは不要です）
ドレンタンクがないと、水もれや感電の原因になることがあります。

●ドレンタンクは正しく取り付ける
逆向きに取り付けると水もれや感電の原因になることがあります。

●ときどき換気を行う
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。
特に燃焼器具と一緒に使用するときは、ご注意ください。

●電源プラグの抜き差しは、プラグ部分を持って行う
コード(ケーブル)を引っ張ると、断線などで、発熱・発火の原因になることがあります。

●移動時は、キャスターのストッパーのロックを解除する
転倒によるけがや水もれの原因になることがあります。

●使用時は、キャスターのストッパーをロックする
転倒などによりけがの原因になることがあります。

●ドレンタンクの排水時タンクのとってはしっかり持つ
満水のドレンタンクの落下によりけがや水もれの原因になることがあります。

●ドレンホースを接続した状態でエアコンを移動する場合は、ドレンホースがエアコンの移動のさまたげにならないようにしてから移動する
転倒によるけがや水もれの原因になることがあります。

⚠警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない
据付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●別売品の取付けは、自分でしない 別売品は当社指定以外のものは 使用しない
取付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店またはメーカー指定の
お客様ご相談窓口にご依頼ください。

禁止

●修理は、自分でしない
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●アース工事を行う
アースが不完全な場合は、
感電や火災の原因になります。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・
電話のアース線に接続しないでください。

●漏電しゃ断器を取り付ける
100V機を乾燥した場所で使用する
場合は省略できます。
取り付けられていないと感電や
火災の原因になります。

●電源は必ずエアコン専用の 電源を使用する
専用以外の電源を使用すると
発熱・火災・故障の原因になります。

●冷媒もれ対策は、販売店に相談する
万一、冷媒がもれて限界濃度を
超えると、酸欠事故の原因になります。
小部屋に据え付ける場合は、冷媒が
もれても限界濃度を超えないように
対策する必要があります。

⚠注意 据付上の注意事項

●可燃性ガスのもれるおそれのある 場所へは設置しない
万一、ガスがもれてユニットの
周囲に溜まると、発火の原因に
なることがあります。

禁止

●ドレンホースは、確実に排水するように 施工する
不備があると、屋内に水もれし、
汚れや故障の原因になることが
あります。

据付けについて

据付前に付属品を確認してください。

●MD-P40TFD1, MD-P40TFD1Lの場合

名　称	冷風吹出口	ねじ	クランプ材	その他
個　数	2	10	1	各1
形　状				取扱説明書 保証書 据付報告書 修理窓口・ ご相談窓口のご案内

●MD-P60TFD, MD-P60TFD-Lの場合

名　称	冷風吹出口	ねじ	クランプ材	その他
個　数	3	15	1	各1
形　状				取扱説明書 保証書 据付報告書 修理窓口・ ご相談窓口のご案内

据付場所について

●まわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？

●次のような場所では使用しないでください。

- 調理場など蒸気の多いところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
- 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
- 電圧変動の多いところ(定格電圧±10%以内)
- 車両・船舶への搭載など
- 電磁波を発生する機械のあるところ
- 傾斜や凸凹のあるところ

運転音にもご配慮を

●次のような場所を選んでいますか？
エアコンの質量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ

●エアコンの吹出口近くに障害物がありませんか？
機能低下や運転音増大のもとになります。

●使用中に異常音がする場合はお買上げの販売店にご相談ください。

電気工事について

お願い

- **電気工事・※D種接地工事の施工には資格が必要です。**
  電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」にしたがって施工し、必ず専用回路を使用してください。
  また、200V以上で使用するエアコンの電気工事は、必ず電気工事業として登録された据付工事店が行ってください。

※300V以下：D種接地工事
　300Vを超える：C種接地工事

●電線などの選定

項目　形名		MD-P40TFD1 MD-P40TFD1L	MD-P60TFD MD-P60TFD-L
電源		三相200V 50/60Hz	三相200V 50/60Hz
電源線太さ	mm^2	2.0	2.0
接地線太さ	mm^2	2.0	2.0
開閉器容量	A	15	30
過電流遮断器 (B種ヒューズ容量)	A	15	20
配線用遮断器容量	A	15	20

●漏電遮断器の取付け

(労働安全衛生規則第333条により取付けが義務づけられています)

100V電源の機種	水気のある場所等に設置するときに取付ける
200V電源の機種	必ず取付ける

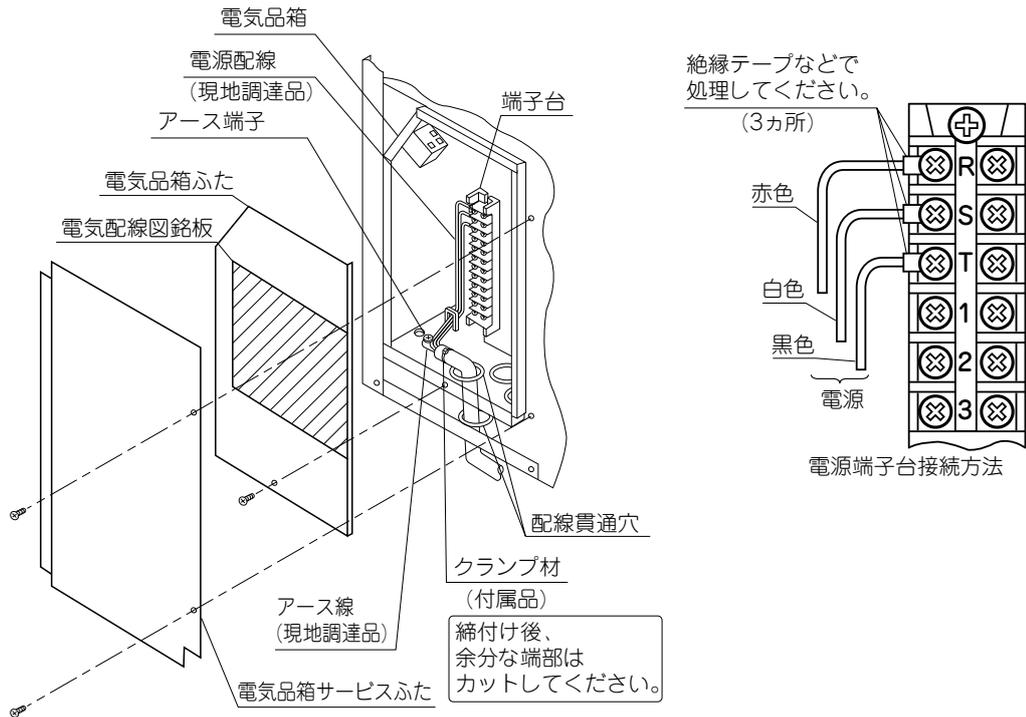
漏電遮断器選定表

配線用漏電遮断器容量(A)		10	15	20
漏電遮断器	形名	NV30-CS NV30-SW NV30-KC	NV30-CS NV30-SW NV30-KC	NV30-CS NV30-SW NV30-KC
	定格電流(A)	10	15	20
	定格感度電流(mA)	30	30	30
	動作時間(s以下)	0.1	0.1	0.1

NVは三菱電機製品の形名です。

●電源の相について

三相電源の機種は、電源線を逆相に接続すると、保護装置が作動し圧縮機が運転しません。
この場合、電源線のいずれか2本を入れかえてください。

●電源配線要領

●端子ねじの締付けには、適正ドライバーを使用してください。
●端子ねじを締め付けすぎるとねじを破損する可能性があります。
●端子ねじの締付トルクは下表を参照してください。

＊締付トルク	
M4	1.18〜1.44

(単位：N・m)

●クランプ材は締付け後、余分な端部はカットしてください。
●エアコン専用の回路を使用してください。
●電源から本機への配線は、電気品箱サービスふたを外し、配線貫通穴より端子台に接続してください。
●電気工事終了後、電気品箱の端子接続部にゆるみや外れがないことを再度確認してください。

**●電源配線は確実に接続されていますか？
また、電源コードや電源配線が断線していませんか？
圧縮機が焼損する原因になることがありますので、必ず下記項目を実施してください。**

- 電源配線は確実に接続してください。
- 電源コードや電源配線は断線のおそれがないか定期点検をしてください。

詳細はお買上げの販売店にご相談ください。

ご注意

●運転可能電圧は定格電圧の±10%以内です。

(200V機の場合：180〜220V
(始動時の電圧降下を含めた値))

この範囲をこえると正常に運転できなくなることがあります。

試運転について

電源工事が終了したら、必ず「運転のしかた(10ページ参照)」にしたがって、機能の確認をしてください。

試運転で正常に運転できない場合は、「調子がおかしいときは(14,15ページ参照)」の項目を確認し、お買上げの販売店にご連絡ください。

各部の名前と働き

⚠注意

●運転中は移動しない
水もれや感電の原因になることがあります。

禁止

●ドレンタンクは正しく取り付ける
逆向きに取り付けると水もれや感電の原因になることがあります。

蒸発器側エアフィルター

冷風吹出口
吹出し方向を調整できます。

凝縮器側排気口

風量調節ツマミ
「強」「弱」の2段階の調節ができます。
（ツマミはどちらの方向にも360°回転します。）

移動用とって

凝縮器側エアフィルター(背面)

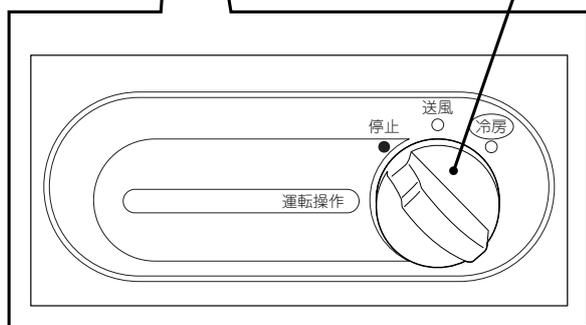
電気品箱サービスふた

電源およびアース線引込口(本体底部)
万一の感電・火災防止のため
室内ユニットから大地へ
電気を逃がす線(アース線)です。

ドレンタンク
容量：
約20リットル

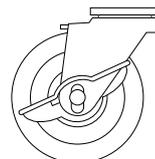
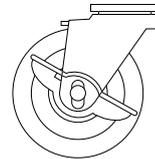
キャスター
前輪：固定輪　後輪：自由輪(ストッパー付)

操作パネル

運転操作ツマミ

後輪：自由輪(ストッパー付)の状態
ロック状態(エアコン使用時)

ロック解除状態(移動時)

（図はMD-P40TFD1を示しています。）

運転準備

1 キャスター(後輪)のストッパーをロック状態にします。

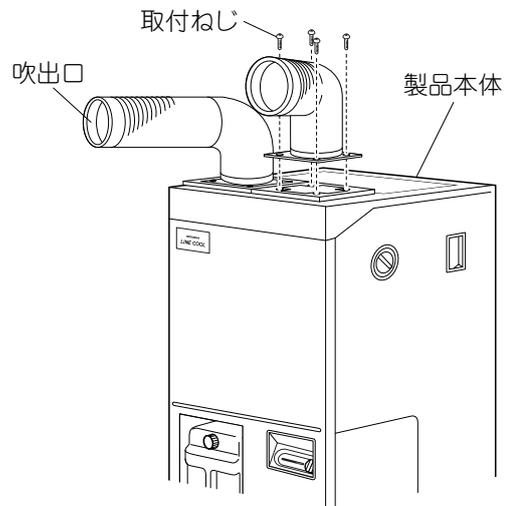
(ロック時の状態は 8 ページ参照してください。)

2 吹出ダクトを取り付けます。

- 吹出ダクト取付時、挿入部分を持たないでください。
  必ず、それ以外のダクト部を持って作業してください。
  指をはさみ、ケガの原因になることがあります。

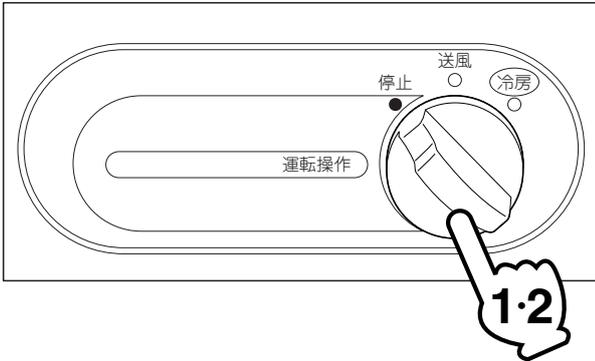
箱内には次の付属品が入っています。

付属品名＼機種名	MD-P40TFD1 MD-P40TFD1L	MD-P60TFD MD-P60TFD-L
吹　出　口	2個	3個
吹出口取付用ねじ	10個	15個

吹出口は右図のように取り付けてください。
(図はMD-P40TFD1を示しています。)

3 エアフィルター・ドレンタンクがきちんと収まっていることを確認します。
また、ドレンタンク上部の穴にドレンホース先端が入っていることを確認してください。
(外れていると水もれの原因になります。)

4 アース線が確実に接続されているか確認します。

5 電源配線を接続して、電源を入れます。

冷房・送風運転のしかた

1	**運転操作ツマミ**を **送風**にします。 （圧縮機は運転していません。）

●**送風運転の操作はここまでです。**

2	**運転操作ツマミ**を **冷房**にします。 冷房運転を開始します。 （圧縮機が運転を始めます。）

風量	**風量調節ツマミ**により 「強」「弱」の選択ができます。

●風量調節ツマミは ページ参照

停止	**運転操作ツマミ**を **停止**にします。 運転を停止します。 （圧縮機も停止します。）

連続運転可能範囲

機　種　名	周囲温度
MD-P40TFD1・MD-P60TFD	25～45℃
MD-P40TFD1L･MD-P60TFD-L	10～45℃

お願い

- **200V三相機の場合、操作後運転しないときは、逆相保護装置が作動していることがあります。3線中2線を入れ替えてください。回らないからといって絶対に電磁開閉器を手で操作しないでください。手で操作しますと圧縮機が故障します。**
- **運転中に停電したときは、停電復帰後、運転しません。運転操作ツマミを停止にし、復帰後再運転してください。**

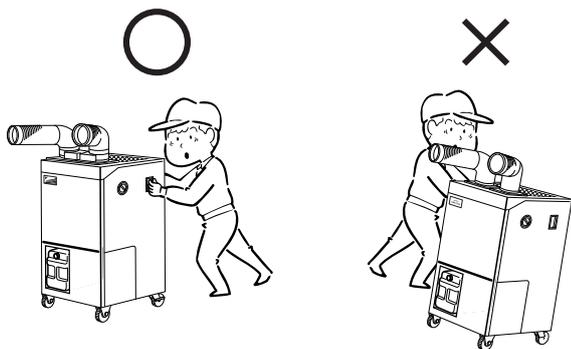
運転の内容と働き

上手な使いかた

**●エアコンを移動させるときは
指定の箇所以外を押すのをやめましょう**

その他の部分を押すと、転倒の原因になります。
エアフィルターの裏側には熱交換器があり、押さえるとフィンが変形するおそれがあります。
機械を移動させる場合は、キャスター(自由輪)のロックを解除状態にしてください。
また、移動経路に段差や障害物があると、転倒の原因になります。必ず平坦な場所で移動させてください。
(注)機械は転倒防止のため15°以上
　　傾けないでください。

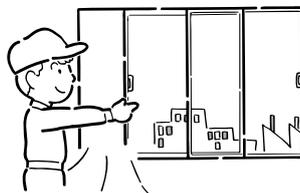
禁止

側面後側のとってをしっかり持って押してください。

- エアコンを移動させるときは、接続線に注意してください。

●吹出口・吸込口の近くにものを置くのをやめましょう

能力が低下、または運転が停止することがあります。

●狭い場所での使用は、窓や扉を開けましょう

締め切った狭い場所では室温が上昇します。

●エアフィルターはこまめに清掃しましょう

汚れたまま運転すると能力の低下、または故障の原因になることがあります。

ページ参照

●テレビ・ラジオ・ステレオなどはスポットエアコンから1m以上離しましょう

映像が乱れたり、雑音が入ることがあります。

⚠警告

●可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

⚠注意

●エアコンを水洗いしない
感電や火災の原因になることがあります。

水ぬれ禁止

●お手入れのときは必ず運転を停止し電源をしゃ断してから、電源プラグを抜く
感電やけがの原因になることがあります。

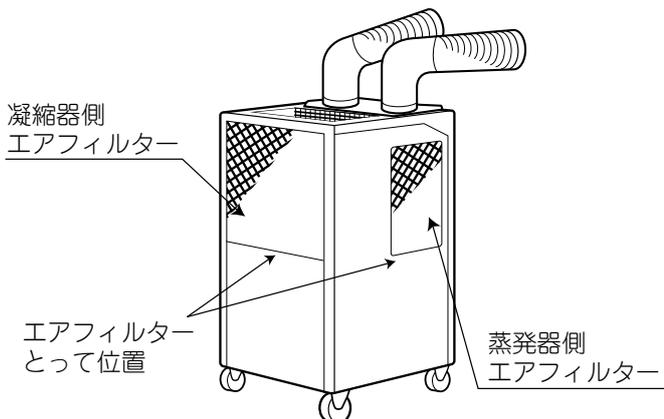
●ドレンタンクは必ず水を捨て、製品に取り付けて使用する
お願い
- 清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。故障やけがの原因になることがあります。
- 吸込口に正規のエアフィルター以外のもの（キッチンペーパーなど）を取り付けないでください。
性能が低下し、凍結・水もれの原因になることがあります。

日常のお手入れ

エアフィルターの清掃のしかた

●汚れのひどいところでご使用になる場合は1週間に1度清掃してください。
通常は2週間に1度が目安です。

お願い
- 清掃を行わないと、悪臭の原因になることがあります。
- 熱交換器からの結露水が正常に流れずに、機外に水もれするおそれがあります。

●エアフィルターは、蒸発器側と凝縮器側にそれぞれ1枚ずつあります。

1. エアフィルターを取り出します。

2. 清掃します。
取り出したエアフィルターは、清水かぬるま湯で洗ってください。

汚れがひどい場合、柔らかいブラシや中性洗剤を使って洗ってください。

お願い
- 50℃以上のお湯で洗わないでください。変形することがあります。
- 火であぶらないでください。燃えることがあります。
- 長時間、直射日光に当てないでください。縮むことがあります。

3. エアフィルターを取り付けます。

外装の清掃のしかた

●柔らかい布でからぶきしてください。

●汚れがとれないときは、水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞った布でふきとったあと、からぶきしてください。

- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。

ドレンタンクの排水について

●ドレンタンク内の水位は毎日数回こまめに点検し、排水してください。
水もれの原因になることがあります。
（条件によっては数時間で満水になることがあります。）

- ドレンタンクをエアコンより取り出す際は、タンクのとってをしっかり持ち、水平にゆっくりと引き出してください。
急な取り出しは、タンクの落下によりケガや水もれ、ドレンタンク破損の原因になることがあります。
- ドレンタンク収納後、ドレンタンク上部の穴にドレンホース先端が入っていることを確認してください。
（外れていると水もれの原因になります。）

その他の日常のお手入れ

性能を維持しより長くご愛用いただくために、次のお手入れをしてください。
●コンセントと電源プラグは定期的に清掃して、ホコリなどを取り除いてください。
●アース線は、断線・ねじ端子のゆるみがないか定期的に点検してください。（外郭にアース端子がある場合）

シーズン始め・終わりのお手入れ

シーズン始め

確認してください。

●エアコンのまわりに障害物がありませんか？
障害物がある場合は取り除いてください。
障害物の影響で風量低下による能力低下や水もれ・機器の故障につながります。

エアフィルターと外装を清掃してください。

●エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。

清掃のしかたは 12,13 ページ参照。

電源配線を接続してください。

電源を入れてください。

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。

●カビなどの発生を防止するためです。

送風運転のしかたは 10 ページ参照。

電源をしゃ断してください。

電源配線を外してください。

ドレンタンクの水は必ず捨ててください。

エアフィルターと外装を清掃してください。

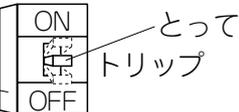
●エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。

清掃のしかたは 12,13 ページ参照。

熱交換器やファンを洗浄する場合は必ずお買上げの販売店にご依頼ください。

調子がおかしいときは

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
まったく運転しない	電源ブレーカーのとってがOFF位置またはトリップ位置になっていませんか？ 電源ブレーカー（漏電しゃ断器）　ON　とって　トリップ　OFF	●電源ブレーカーのとってがOFF位置の場合は、電源を入れてください。 ●電源ブレーカーのとってがトリップ位置の場合は、電源を入れないで販売店にご連絡ください。
	停電ではありませんか？	停電復帰後、運転操作ツマミを「停止」にし、再運転してください。
	ヒューズ付負荷開閉器のヒューズが切れていませんか？	ヒューズを確認し、ヒューズが切れている場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。
運転するとすぐに止まる	エアコンの上やエアフィルターの前にものを置いていませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 12 ページ参照
	凝縮器にゴミやホコリが詰まっていませんか？	お買上げの販売店にご相談ください。
	周囲温度が高すぎませんか？	風通しを良くするなどして、連続運転可能範囲内でご使用ください。 10 ページ参照
よく冷えない	吹出口をふさいだり、エアコンの上やエアフィルターの前にものを置いたりしていませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 12 ページ参照
	満水ランプが点灯していませんか？	ドレンタンクの水を捨ててください。 13 ページ参照
	延長コードを使っていませんか？	延長コードを使わず、直接コンセントに接続してください。※1
	周囲温度が高すぎませんか？	風通しを良くするなどして、連続運転可能範囲内でご使用ください。 10 ページ参照
	ほかの設備の排熱空気を吸い込んでいませんか？	設置場所を変えてください。
	蒸発器にゴミやホコリが詰まっていませんか？	熱交換器の洗浄が必要な場合がありますので、お買上げの販売店にご相談ください。

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理しないで、お買上げの販売店にご連絡ください。
このとき、症状と機種名をお知らせください。（機種名は製品外板下方に取り付けている銘板に記載しています。）
※1　運転可能電圧：180～220V

次の場合は、故障ではありません。

症状		原因
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき（油分やホコリの多い場所）	エアコン内部の汚れがひどい場合に、温度ムラが生じるためです。（注1）
音が出る	冷房運転スタート時の「ジー」という連続音	冷房運転したときの圧縮機の音です。しばらくすると消えます。
	運転停止後の「シュルシュル」という音	ガス（冷媒）の流れが止まる音または流れが変わる音です。
ホコリが出る	長時間運転停止後、ふたたび運転を始めるとき	エアコン内部に付着したホコリが吹き出るためです。
ニオイが出る	運転中	部屋のニオイ、たばこのニオイなどがエアコン内部で吸着されて吹き出すためです。（注2）

注1. エアコンの内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですのでお買上げの販売店にご依頼ください。
注2. ニオイの原因となるものを吸込口から離してください。

次の場合は販売店へご連絡ください。

⚠警告

●**異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止し電源をしゃ断してから、電源プラグを抜く**

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。

症状	次の処置をしてから連絡を
電源コード・ケーブルが異常に熱い。 電源コード・ケーブルが破れている。	操作ツマミで停止にし、電源をしゃ断してから、電源プラグを抜いてください。
電源ヒューズ・電源ブレーカー・漏電しゃ断器などの安全装置が作動する。	電源をしゃ断してください。
運転スイッチの作動が不確実。	電源をしゃ断してください。
エアコンから水がもれる。	運転を停止してください。

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。
ご入用の際には純正品とご指定ください。詳細はお買上げの販売店にお問合せください。

⚠警告

●別売品の取付工事は、自分でしない
別売品は当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご依頼ください。

禁止

排気ダクト ………………………………… 凝縮器からの温風排気を上または横方向に逃がすことができます。

延長ダクト ………………………………… 風向を自由に変えることができます。

２口吹出口 ………………………………… 冷風の吹出しを2つに分岐することができます。

製品の種類

機種名	MD-P40TFD1	MD-P60TFD	MD-P40TFD1L	MD-P60TFD-L
機能	冷房専用形			
ユニット構成	一体型			
熱交換器の冷却方式	空冷式			
送風方式	直接吹出形			
冷風吹出温度差(℃)強風量時(★1)	9.2/9.0	9.0/9.0	9.2/9.0	9.0/9.0

（注）1. ★1の値は、周囲条件35℃DB　60%RH、強風量運転です。
　　　2. /で示された数値は左が50Hz、右が60Hzです。
　　　3. この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

⚠警告

●**改造は絶対にしない**
事故の原因になります。
改造による故障は、保証期間内でも
有料修理になります。

禁止

●**修理や移動・再設置は、自分でしない**
据付けに不備があると、水もれ・感電・
火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●**冷媒がもれたら火気厳禁**
エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、
ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、
運転してください。

禁止

フロンについて

1) 地球温暖化防止のため、この製品を廃棄・整備する
場合には、フロン類を回収する必要があります。
2) 本機には最大で、以下に示す量のフロン類が使用されて
います。
P40形の場合：CO_2　1300kg相当
P60形の場合：CO_2　2000kg相当
（詳細な数値は各製品の機種名銘板に記載されています）

この表示はエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。

**■修理を依頼されるときは
次のことをお知らせください。**

- 機種名
- 製造番号と据付年月日
  } 保証書に記載してあります。
- 故障状況 ── できるだけ詳しく
- ご住所・お名前・お電話番号

■ご不明な点や修理に関するご相談
お客様ご相談窓口、修理窓口にお問合わせください。

■補修用性能部品の保有期間について
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、このエアコンの補修用性能部品を製造打切り後9年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものですが、当社はこの基準により補修用部品を調達した上修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施します。

■保守点検契約のおすすめ
エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能低下や水もれの原因になることがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

■点検と保全周期の目安について
[保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]
表1は次の使用条件が前提となります。
①ひんぱんな運転・停止のない、通常のご使用状態であること。
（機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
②製品の運転時間は、10時間／日、1500時間／年としています。

●表1.「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1 年	20,000時間
電動機 (ファン･ルーバー･ドレンポンプ用など)		20,000時間
熱交換器		5 年

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
センサー (サーミスタなど)	1 年	5 年
スイッチ類		25,000時間

注 1．本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
注 2．この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
注 3．「保全周期」および「交換周期」は、使用条件（運転時間が長い、運転・停止ひん度が高いなど）や使用環境（高温・多湿など）がきびしくなると短縮する必要があります。
詳細は、お買上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にお問合わせください。

■消耗部品の交換周期目安について

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2.「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期
エアフィルター	1年	5 年

主要部品名	点検周期	交換周期
ヒューズ	1年	10年

注 1．本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
注 2．この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。
詳細は、お買上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にお問合わせください。
なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となることがありますのでご注意ください。

■廃棄などについて

この製品は「フロン回収・破壊法」に定める「第一種特定製品」です。

●この製品を廃棄またはリサイクル（部品や材料の再利用）する場合には「フロン回収・破壊法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。
お買上げの販売店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。
●製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にお問合わせください。

保証書について

●この製品には保証書がついています。
保証書は、お買上げの販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理している方が大切に保管してください。

保証期間…据付日から1年

詳細は保証書をよくお読みください。

●保証期間内に無料修理を依頼されるときは、お買上げの販売店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡のうえ、修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。
ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

お客様メモ

ご購入店名

TEL.

据付年月日　　年　　月　　日

3VA11116-6S　M12A006 (1206) FS